

教科 国語

科目 現代の国語

授業科目	国語(現代の国語)	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 1 年	コース	ICT 科・普通科		
教科書	新編 現代の国語 (大修館書店)		副教材	学習課題ノート、高校生の語彙と漢字、	
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
授業内容および 到達目標	2 期 学	単 元	目 標		教 材
	1 学 期	ことばをひらく	「変わる」ことについて筆者の考えを読み取り、高校生活を始めるにあたっての参考にする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「変わる」ことを楽しもう</li> <li>・コミュニケーションは技術だ</li> </ul>
		日本語を使いこなす	場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの使い分け</li> <li>・正しく書こう</li> <li>・文を整え、文をつなぐ</li> </ul>
		わかりやすく説明する	相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに着目して、文章の構成をつかむ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか</li> <li>・絵や写真を説明しよう</li> <li>・料理レシピを書こう</li> <li>・ショートスピーチ</li> </ul>
	2 学 期	論理を読み取る	具体例の働きをとらえ、具体と抽象の関係を考えながら読む。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・オカピの胃袋はいくつか</li> <li>・水の東西</li> </ul>
		伝え合いのレッスン	相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。さまざまな方法を用いて、アイデアを広げたり整理したりする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話のレッスン</li> <li>・テーマを決めて話し合おう</li> </ul>
		情報と向き合う	図との関係に注意しながら、文章を読み取る。文章とグラフとの関係に注意しながら、文章を読み取る。テーマを決め、適切な方法で情報を集め読み手を納得させる文章を作成する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の力関係</li> <li>・どこもかしこもプラスチック！</li> <li>・レポートを書こう</li> </ul>
	3 学 期	他者を動かす	対象者を明確にし、対象者を説得することができる企画書を書く。聞き手の心を動かし、目的を達成するために、構成や発表のしかたを工夫する		<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力的な企画書を書こう</li> <li>・プレゼンテーションをしよう</li> </ul>
		社会に目を向けて	筆者の問題意識と主張を、具体例に気をつけながら読み取る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・何のために「働く」のか</li> </ul>

教科 国語

科目 言語文化

授業科目	国語(言語文化)	単位数	2単位	履修形態	必修	
履修学年	高校1年	コース	ICT科・普通科			
教科書	新編 言語文化(大修館書店)		副教材	学習課題ノート、高校生の語彙と漢字、古典文法用言活用シート		
授業概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					
授業内容および到達目標	2 期 学	単元	目 標		教 材	
		一 学 期	ことばと出会う(現)	言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。		・言葉の森を育てよう ・季節の言葉と出会う
			表現を味わう(現)	文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。		・水かまきり ・とんかつ ・一瞬の風に慣れ ・鏡
			文化を見つめる(現)	日本のデザインに見られる独特の感性について、筆者の主張を読み取る。		・ほどほどのデザイン
	物語を受け継ぐ(現)		小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。		・羅生門	
	3 期 学	二 学 期	ことばと生きる(現)	叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。		・祖母が笑うということ ・コルベ神父
			日本語を考える(現)	漢字の特色および、過日本語における漢字の働きを知るとともに、漢字を身につける大切さを理解する。(漢字検定で目標の級に合格できるよう、模擬問題に取り組む)		・漢字の性格 ・漢字検定
			古文に親しむ(古)	古文を読む意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。また、音読を繰り返すことで古文に慣れ、古文と現代文の違いを理解し、基礎を身につける。		・古典の魅力 ・児のそら寝 ・いろは歌
			随筆の楽しみ(古)	随筆の文章表現の特色について理解する。また、両作品を通して自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。		・枕草子 ・徒然草 ・伊勢物語
	三 学 期	漢文に親しむ(漢)	漢文の訓読のきまりについて理解する。		・訓読のきまり/再読文字 ・格言	
			現代に生きることば(漢)	「株を守る」という言葉の意味について、考えを深める。		・守株・蛇足

# 令和5年度 ICT科普通科高校1年 地理総合シラバス

教科 社会

教材: 帝国書院「高校生の地理総合」 準拠ノート

科目 地理総合

学期	項目(タイトル)	学習課題	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<b>1章 地図や地理情報システムと現代世界</b>	<p>1章の目標</p> <p>①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。</p> <p>②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。</p> <p>②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>
2 学期	<b>2章 地球的課題と国際協力</b>	<p>2章の目標</p> <p>①地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解する。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。</p> <p>②地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>①地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを理解している。 地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。</p> <p>②地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>
3 学期	<b>3章 生活圏の調査と地域の展望</b>	<p>2章の目標</p> <p>①生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。</p> <p>②事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>	<p>①生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。</p> <p>②事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>

# 令和5年度 教科 社会科 科目 公共

授業科目	公共	単位数	2単位	履修形態	必修
履修学年	高校2年ICT、高校1年普通科				
教科書	帝国書院 公共	副教材	帝国書院 公共ノート ニュース検定 公式テキスト		
授業概要	一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な課題を理解し、持続可能な社会のために自分には何が出来るのかを考察させる。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標			教材
	1 学期	第1部 1章	青年期における自己と社会のあり方の理解に基づき、社会に参画する自立した主体としてのあり方・生き方について自分の意見を表現することを通じて社会形成とそれに結び付く、みずからのキャリア形成について理解させる。		教科書 副教材
	1 学期	第1部 2章	私たちが生きる社会を形成する伝統や文化、宗教、古来の日本人の考え方などへの理解に基づき、私たちはお互いの立場を理解し合う社会的な存在であることについて自分の意見を表現することを通じてみずからの価値観や他者の価値観、それらを形成する背景や要因について理解させる。		教科書 副教材
	2 学期	第1部 3章	公共的な空間における基本原理としての日本国憲法の考え方の理解に基づき、個人と社会の関係等について自分の意見を表現することを通じて、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定等の大切さ、公共的な空間に生じる課題を探究することの大切さ等について理解させる。		教科書 副教材

	2 学 期	第2部 1章	法の基本的な考え方に関する正確な理解に基づき、身近な主題についてさまざまな考え方を踏まえて判断し、みずからの意見や主張を表現することを通じて、法の意義や司法参加について関心を高めさせる。	教科書 副教材
	2 学 期	第2部 2章	さまざまな意見や利害を調整するという政治の意義や統治機構のしくみの正確な理解に基づき、よりよい社会を構成するための取り組みについて、自分の意見を表現することを通じて、政治参加と公正な世論の形成、地方自治等について理解させる。	教科書 副教材
	2 学 期	第2部 3章 1節	希少な資源を効率的に配分する市場メカニズムに対する正確な理解に基づき、公正かつ自由な経済活動が行われる社会を構成するための取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、市場経済の機能と限界、金融の動き、財政および租税の役割について理解させる。	教科書 副教材
	3 学 期	第2部 3章 2節	変化する産業構造と労働のあり方、社会保障の意義と課題に対する正確な理解に基づき、国民福祉の向上に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の役割といった諸問題について理解させる。	教科書 副教材
	3 学 期	第2部 3章 3節	グローバル化の進展により経済活動が世界的な規模で行われていることに対する正確な理解に基づき、貧困や格差のないよりよい国際社会の形成に向けた取り組みについて自分の意見を表現することを通じて、経済のグローバル化と相互依存の深まり、国際社会における貧困や格差の問題などについて理解させる。	教科書 副教材

# 教 科 数 学

# 科 目 数 学 I

科目	数学 I	単位数	3 単位	履修形態	必修・選択
学年	1 年	コース	普通科		
教科書	NEXT 数学 I (数研出版)	副教材	CONNECT 数学 I +A (数研出版) 練習ドリルはぎ取り式数学 I (数研出版)		
授業概要	<p>数学 I では、中学で学んだ、数と式・図形及び数量関係の領域を発展させ、高等学校における基礎的な知識を習得するとともに、より数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。また、新しく集合と論証、データの分析を加え内容を充実させていきます。</p>				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	数と式 * 式の計算 * 実数	(1) 中学時代の復習 (2) 中学時代の展開・因数分解を発展 (3) 数を分類・整理し数の体系を学ぶ。 (4) 平方根の四則演算	教科書 はぎ取り式 プリント	
		1 次不等式 * 1 次不等式	(1) 不等式の解の意味と性質		
		集合と論証 * 集合 命題と論証 * 命題と条件・論証	(1) 集合の表し方 (2) 部分集合、共通部分と和集合 (3) 必要条件と十分条件 (4) 条件の否定と逆・裏・対偶		
	2 学 期	2 次関数 * 関数とグラフ * 2 次不等式	(1) 2 次関数をグラフの形に変形 (2) 2 次関数の決定 (3) 2 次不等式の解法を学ぶ		
		三角比と計量 * 鋭角拡張応用 * 図形の計量	(1) 正弦、余弦、正接とその相互関係の理解。 (2) 鈍角三角形への拡張 (3) 正弦定理、余弦定理、面積、空間図形		
		データの整理と分析 * データの整理 * 箱ひげ図 * 分散と標準偏差 * データの相関 * 2 年生の予習	(1) データの整理と相対度数による計算 (2) 平均値・中央値・最頻値を代表と考える (3) 四分位数、箱ひげ図とヒストグラムの対応 (4) データ分析の基本を学ぶ。 (5) 1 対 1 の相関関係を調べる。 (6) 数列を学ぶ。		
	3 学 期				

令和5年度 年間学習計画

科目名[数学A(2単位)]

担当学級[高校1年I組(普通科)]

担当者[谷下智浩] 印

使用テキスト[NEXT数学A(数研出版)]

使用問題集 [CONNECT数学I+A(数研出版), 練習ドリル数学A(標準)(数研出版)]

月	時間	単元	配当時間	指導の要点	備考
4	5	<b>第1章 場合の数と確率</b> 準備 集合 1. 集合の要素の個数 2. 場合の数 3. 順列 [中間試験]	2	共通部分や和集合, 補集合や部分集合などの概念を知る 要素の個数の求め方を集合と関連させて知る 樹形図と個数を求めるときの和の法則と積の法則を知る $nPr$ の使い方と円順列, 重複順列の求め方を知る	
5	4		2		
6	7		4		
7	2	4. 組合せ 5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 [期末試験]	2	$nCr$ の様々な使い方を知る 確率の意味と基本的な求め方を知る 和事象や余事象における確率の求め方を知る	
8	1	7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値 [中間試験]	2	独立の意味を知り, 反復試行の確率の求め方を知る 条件付き確率の意味を知り, 乗法定理を用いて確率を求める 期待値の計算方法を知り, その意味を考える	
9	5		3		
10	2		2		
10	5	<b>第2章 図形の性質</b> 1. 三角形の角の二等分線と辺の比 2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 [期末試験]	1	角の二等分線定理とその使い方を知る 外心・内心・重心の性質と長さや角度の計算 定理を用いて辺の比を求める 円周角の定理と内接四角形の性質から角度を求める 接線の性質と接弦定理, 方べきの定理の活用	[研究]三角形の辺と角は 軽く触れるだけの扱い
11	7		3		
			2		
			2		
			3		
11	1	6. 2つの円 8. 直線と平面 9. 多面体 <b>第3章 数学と人間の活動</b> 1. 約数と倍数 2. 素数と素因数分解 3. 最大公約数・最小公倍数 4. 整数の割り算 5. ユークリッドの互除法 6. 1次不定方程式 7. 記数法 補足 等式を満たす $x, y$ の値 (和, 差, 積の余り)→備考参照 (合同式)→備考参照 [学年末試験]	2	2つの円の位置関係と共通接線について知る 空間における直線と平面の位置関係について知る 正多面体の種類とオイラーの多面体定理について知る 倍数の判定方法を知る 素因数分解を用いて約数の個数を求める 最大公約数・最小公倍数の活用法を知る 余りの性質を知る 互除法を用いて大きな数の最大公約数を求める 整数解を文字 $k$ などを用いて一般解として表す $n$ 進数を10進数で表したり, 逆の操作も行う。 因数分解を用いて積の形から整数解を求める。	7. [作図]は省略 8, 9は簡単な説明のみ [補足](和, 差, 積の余り) と(合同式)はここで扱う。
12	4		1		
			2		
1	7		2		
			2		
			2		
2	6		1		
			3		
			2		
3	0		1		
		3	[8以降は省略]		
		4			

宿題について……問題集の指定した問題を次回までにノートにやる。  
 次回の授業始めに2題ほどを代表者2名に板書してもらう。  
 その間に他の生徒の宿題をチェック。

定期試験について……記述式での出題。  
 ①知識・技能については、用語, 記号の確認と基本的活用を見る問題  
 ②思考力・判断力・表現力については、応用力を見る問題  
 ③主体的な態度については、簡単な作問を問う問題やテストに向けた取り組みの感想  
 や反省などを書かせる問題

# 教 科 理 科 科 目 化 学 基 礎

授業科目	化学基礎		単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	1 年		コース	普通科		
教科書	実教出版 化学基礎		副教材	実教出版 アクセスノート化学基礎 新課程版		
授業概要	身の回りに存在するものがどのようにできているか、物質の成り立ちについて学習します。また、さまざまな物質と物質の反応について、日常生活との関連も意識しながら学習します。					
授業内容		単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	物質の探求 物質の構成粒子 物質と化学結合	物質の成り立ちについて実験や観察を通して理解する。物質を構成する原子をはじめとする基本粒子について理解する。 身のまわりの物質に含まれる粒子がどのように結合しているか理解する。		周期表 イオン結合 共有結合 金属結合	
	2 学 期	物質と化学変化	原子や分子の集団として扱う物質の考え方を理解する。 化学反応の量的関係について理解する。		原子 分子 化学反応式	
	3 学 期	酸と塩基 酸化と還元	酸や塩基の性質や中和反応とその量的関係について理解する。酸化還元反応を電子の授受に基づいて理解する。電池や電気分解について理解する。		酸 塩基 電池	



# 教科 理科 科目 地学基礎

授業科目	地学基礎	単位数	2 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高 校 1 年	コース	普通科		
教科書	実教出版 地学基礎	副教材	ビジュアルプラス 地学基礎ノート		
授業概要	<p>中学校で学習した「大地の変化」「気象のしくみと天気の変化」「地球と宇宙」の内容をさらに詳しく学習します。広大な宇宙に存在する、我々が住む地球に起こる様々な環境やそのしくみなどを学びます。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
学 期	1 章 地球の構成と運動	私たちが生活する地球について、内部の状態や構成物質を解説したり、活発に活動している地球の様子について学びます。		ビデオ、インターネット、プリント	
	2 章 大気と海洋	地球を取り巻く大気と海洋が循環したり、エネルギーのやりとりをすることで地球の環境が一定に保たれていることを学びます。		ビデオ、インターネット、プリント	
	3 章 宇宙、太陽系と地球の誕生	ビッグバンに始まる宇宙の歴史や、地球が誕生し、生命が存在するようになるまでの過程を学びます。		ビデオ、インターネット、プリント	
		4 章 古生物の変遷と地球環境の変化	地球の歴史を知るための方法として、地層や化石を調べ、どのように地層ができたのか、また、化石からどのようなことが読み取れるのかを学びます。		ビデオ、インターネット、プリント
	5 章 地球の環境	1～4 章までの学習を踏まえ、自然災害や環境問題について学びます。		ビデオ、インターネット、プリント	

# 教科 保健体育

# 科目 体育

授業科目	体育	単位数	2単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校1年	コース	普通科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	運動を通して、集団の中で他人への思いやりの心を養うことと、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力の向上を図り、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	水の特性を理解し、自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3 泳法をマスターする。		
		バスケットボール	ネット型の特性を理解し、ドリブル、シュート、 パスの正しい技術を身につける。		
	2 学 期	ダンス	表現したい内容が伝わるような動きを工夫したり、 呼吸を合わせたり、めりはりをつけて踊ることが できるようにする。		
		器械運動	柔軟性を高めていくことを目指す。接転系の技を 正しい姿勢でできるようにする。		
		体育理論	スポーツの歴史について理解できるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	ルールを理解し、パスやドリブルの正確な技術を 身につける。		
		武道	武道の特性を理解させ、姿勢や組み方を中心に、 安全を考えて練習する。		

# 教科 外国語

# 科目 英語コミュニケーションⅠ

授業科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校1年 普通科	コース			
教科書	Power On Evergreen	副教材	速読英単語 入門編 10分速読ドリル Crossbeam		
授業概要	英文を読み、内容を理解し、表現することができる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	中学校の復習	簡単な英文を読み、内容を理解する。	速読英単語 Evergreen	
		L1 Japan's New Tourism	簡単な英単語を書くことができる。		
		L2 Light from Creatures	簡単な英文を表現することができる。		
2 学 期	L3 Routes to the Top			速読英単語 Evergreen	
	L4 Left to Right, Right	英文を読み、内容を理解することができる。			
	L5 Banana Paper	内容を理解した上で、正しく解答することができる。			
	L6 Patterns in Human Behavior	英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。			
3 学 期	L7 No Plastic or No Future	日本語を見て、英文を表現することができる。		速読英単語 Evergreen	
	L8 Oh My Cod!	長い英文を読み、内容を理解することができる。			
	L9 Is E-sports a Real Sport	内容を理解した上で、正しく解答することができる。			
	L10 Being Different Is Beautiful	英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。			

# 教科 外国語 科目 論理・表現 I

授業科目	論理・表現 I	単位数	2 単位	履修形態	必修	選択
履修学年	高校 1 年 普通科	コース				
教科書	My Way I		副教材	WORKBOOK		
授業概要	英文を正しく書き、表現できる。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標			教 材
	1 学 期	L1 Let's Talk about Ourselves	挨拶、自己紹介ができる。			My Way I
		L2 School Life	学校生活に付いて紹介できる。			
		L3 The Arts	好きな絵について発表できる。			
	2 学 期	L4 Food and Culture	日本の食文化を紹介できる。			My Way I
		L5 Welcome to Our Town	道案内ができる。 地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表できる。			
		L6 Traveling Abroad	旅先から友人へメッセージを送ることができる。			
		L7 Sports	車椅子競技を紹介できる。			
	3 学 期	L8 Everyday Technology	科学時術製品を紹介できる。			My Way I
		L9 Take Care	健康について発表できる。			
L10 SDGs --- Take Action!		SDGs について発表できる。				

# 教 科 情 報                      科 目 情 報 I

授業科目	情報 I	単位数	2 単位	履修形態	(必須) ・ 選択
履修学年	高校 1 年 普通科	コース			
教科書	情報 I		副教材		
授業概要	iPad を使用しての実習がメインとなる				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	オリエンテーション	「情報 I」の学習目標とシラバスについて知る		
		私たちが取り巻く情報	メディアの意味と特徴を学ぶ。 情報の信憑性について理解する。 情報を批判的にとらえることを知る。		教科書、自作プレゼン
		法律と個人の責任 情報社会と著作権 個人情報の保護 アナログからデジタルへ インターネット	著作権について理解する。 個人情報について理解し、その保護や活用について理解する。 ネチケットやマナーを学習する。 10 進数 2 進数 16 進数について、人間の言語と P C の言語について理解させる。 インターネット・ホームページ、メールについて学習。		教科書 自作プレゼン
	2 学 期	文書作成 表計算 画像処理 プレゼンテーション	ワープロソフトを利用しての文書作成対応について理解。 文字、画像、動画像、音のデジタル化の仕組み デジタルデータの利点と、情報の統合。 写真の一部を抜き出す。 別の写真に抜き出した画像を重ね合わせる。 画像処理ソフトウェアを用いて画像加工する。 プレゼンテーションソフトウェアでスライドショーを作成する。		教科書 iPad アプリ Pages iPad アプリ Numbers iPad アプリ Keynote
		画像ムービーを作ろう	学校生活などの写真を収集する。 ビデオ編集ソフトウェアで、見せたい順に写真を配置する。 それぞれの写真にキャプションを入れる。 トランジションを設定する。 作品を発表し、評価する。		iPad アプリ iMovie iPad アプリ Clips
	3 学 期	プログラミング	プログラミング言語の種類を学習する。 アプリを使ってプログラミングを学習する。		iPad アプリ Swift Playgrounds

# 教 科 探 究 科 目 探 究 基 礎 ( 普 通 科 )

授業科目	探究基礎	単 位 数	1 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 1 年 普通科	コ ー ス			
教科書	Corporate Access (教育と探究社)	副教材		エデュカネット	
授業概要	<p>実在する企業でのインターンシップを教室で体験し、調査や企画、プレゼンテーションなどリアルな企業活動を通して、働くことの意義や経済活動について学ぶ探究型のプログラム。前半はフィールドワークやアンケート調査など企業の実務を体験し、後半では、企業から出される課題(ミッション)に取り組みます。企業理念を踏まえたリアルな課題に取り組むことで、社会や企業に対する興味・関心が生まれ、生徒一人ひとりの主体性と創造性を育むとともに、職業観を醸成する。"</p>				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	備 考	
	1 学 期	オリエンテーション 自分の仕事意識を知る 企業にエントリーする 新人研修に取り組む /課題報告の準備をする 課題を報告する 仕事を始める アンケート調査に取り組む 「調査レポート」を書く	"題材となる実社会に興味・関心を向ける 現在の自分の意識を把握・認識する" "各企業の情報を当事者意識を持って見る "明確な自覚を持って活動に参加する 出された課題を的確に把握する" "集めた情報を適切にまとめる 焦点を絞って的確に準備を進める		
	2 学 期	調査結果を報告する ミッションを受け取る 企画会議を開く 企画案を考える 中間報告をする 企画を磨く 中間発表 「合同研修」を受ける	整理して報告する" チームで協力して作業を行う 当事者意識を持って課題に取り組む" 情報を正確に集計し適切にまとめる 聞き手を意識した報告・発表をする 粘り強く正確に作業を行う" チーム間で積極的に意見を出し合う 集めた情報をもとにアイデアを導き出す、意見をまとめ、答えを見いだす 集めた情報を適切に抽出して活用する	Quest Cup への出場	
	3 学 期	プレゼンテーションの準備 プレゼンテーション ブラッシュアップ、企画練り 上げ、発表準備" 学内発表会" すべての活動を振り返る	"チームで協力して課題をやり遂げる 目的を明確にして情報の伝え方を考える" 必要なプレゼンスキルの要点を理解する" "目的を明確にして情報の伝え方を考える 聞き手に伝わるプレゼンを準備する"		